取扱説明書

保管用

（Y129A）B

yamada

スポットライト（ダクトタイプ）

（ライティングダクト専用）

ご使用になられる前に必ずお読みください

この取付説明書には取り付け方やランプの交換方法、お手入れのしかたなどご使用にあたり重要な事柄が書かれてあります。
この取付説明書を大切に保管して、お手入れなどの際にご利用ください。

■仕　様

品　番	適合ランプ
SR-4405	E26 レフランプ 100Wまで×1（別売）

この取付説明書のマークについて

⚠警告　説明書中の「警告」は、重大な人身事故の原因となる危険を示します。
⚠注意　説明書中の「注意」は、物損及び障害事故の原因となる危険を示します。
❗　このマークのついている説明文は、必ず守ってください。
⃠　このマークのついている説明文は、行ってはいけない禁止事項です。

取り付け・取り扱い上の注意

⚠警　告

一般屋内用器具です。屋外や浴室など湿度の多い場所では使用できません。（図1）
★感電事故や漏電の原因となります。

次のような場所には取り付けないでください。（図1）
★ライティングダクトがついている天井面・壁面以外の場所

不安定な場所

この器具は、ライティングダクト取付専用です。
天井面・壁面の丈夫なところに取り付けてください。縦向きのライティングダクトには取り付けないで下さい。
★指定以外の取付を行うと、器具落下による「けが」の原因となります。

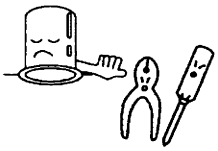
器具の開口面と照射する物（被照射物）との距離は指定の距離以上離して設置してください。
★指定の距離より近すぎると被照射物の変形や変質または火災の原因となります。

器具が高温になります。床面から1.8m以下の場所には設置しないでください。
★感電事故や火傷の原因となります。

ダクトプラグの一部が欠けていたり、ヒビが入っている場合には絶対に使用しないでください。
★器具の落下事故、ショートや火災の原因となります。

ドライバーなどの異物は差し込まないでください。
★感電事故の原因となります。

器具の改造や構成部品の変更、改造はしないでください。（図2）
★火災や感電事故の原因となります。



器具を布などで覆わないでください。（図3）
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

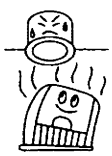
（図3）

⚠注　意

ＡＣ１００Ｖ専用です。必ずＡＣ１００Ｖの電源で使用してください。
★定格電圧より高い電圧で使用すると、過熱し、火災の原因となることがあります。

この器具は周囲温度5℃～35℃の中で使用してください。
★過熱して、発煙や発火の原因となります。

温度の高くなるもの（ガスレンジやエアコンの吹き出し口など）の近くには設置しないでください。
★器具カバーの変形や火災の原因となります。

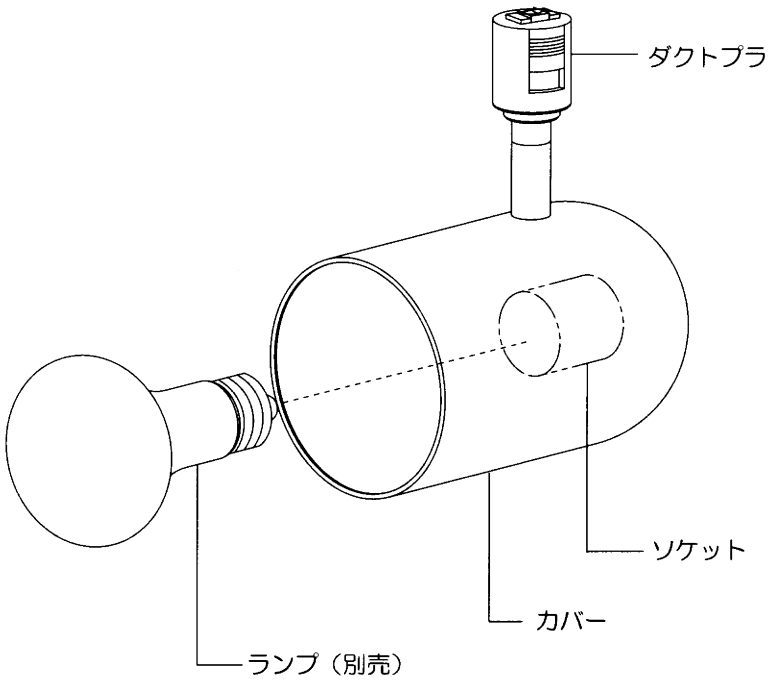


殺虫剤やカビ取り剤などの薬品をかけないでください。
★変色や材料の変質によるカバーのヒビ割れなどの原因となります。

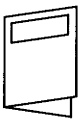
各部の名称

（説明図は、一部を省略抽象化した図です。）
（不足している部品があった場合には、お買い上げ店または最寄りの山田照明サービス受付窓口までご連絡ください。）

■器具構成図



■ 付 属 品

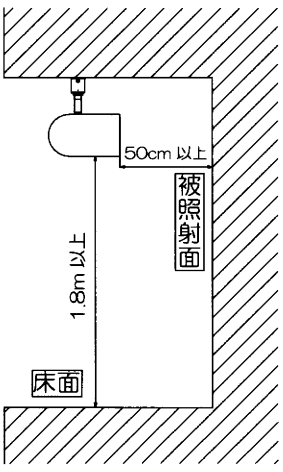


取付説明書（本紙）・・・・・・・・・・・・1枚
保証とアフターサービス（別紙）・・・・・1枚

取付け場所の確認

⚠ 警　告

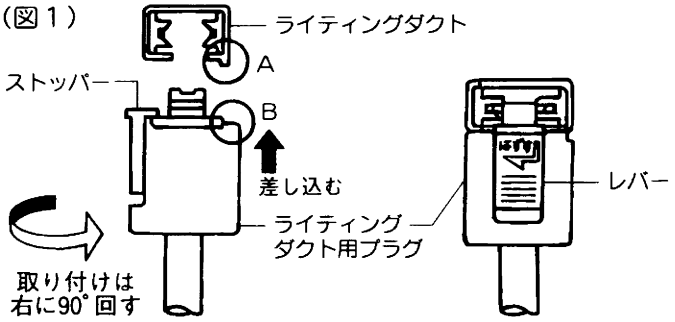
- この器具は、ライティングダクト取り付け専用です。天井面・壁面の丈夫なところに取けてください。
- 器具が高温になります。床面から 1.8m以上離して設置してください。
  ★感電事故・火傷の原因となります。
- この器具の被照射面までの距離が決まっています。被照射面までの距離を 50cm 以上離して設置しください。
  ★加熱による火災の原因となります。



取り付け方　⚠ 注意　❗ 必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

⚠ 警　告❗ 器具の取り付けは、取扱説明書に従い確実に行ってください。
★取り付けに不備があると、器具落下による「けが」や火災、感電事故の原因となることがあります。

(図1)



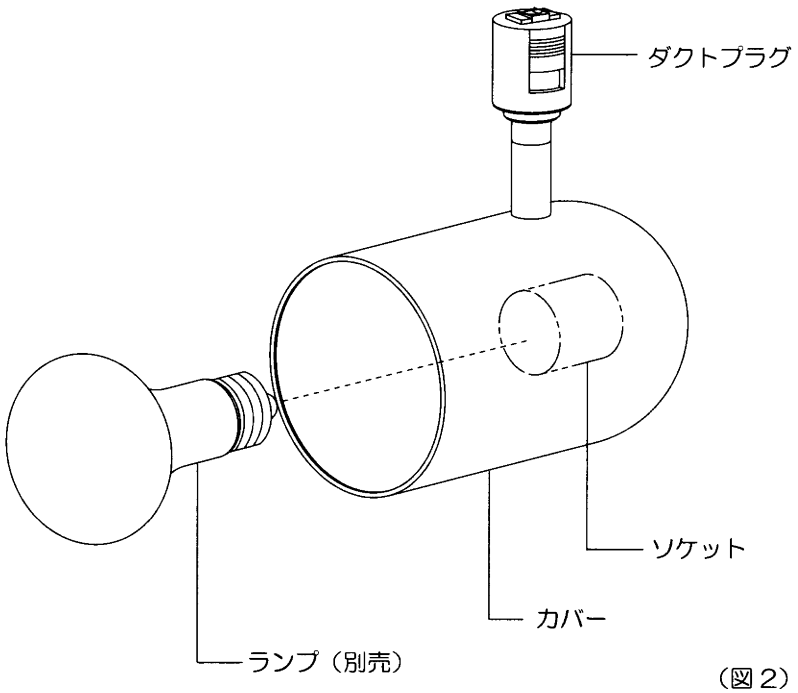
1. 器具を取り付けます。(図 1)

- ライティングダクトへライティングダクト用プラグを取り付けます。
- A・Bの凸凹に合わせてライティングダクト用プラグをライティングダクトへ差し込み、プラグを右へ90°回して取り付けます。この時、ストッパーがライティングダクトに確実にはまっていることを確認してください。

2. ランプを取り付けます。(図 2)

- ランプをソケットにねじ込みます。

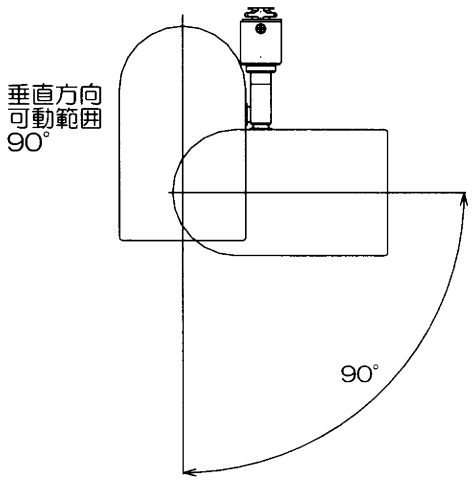
⚠ 注意 ●ランプは乱暴に取り扱わないでください。
★ランプ割れ等、事故の原因となります。

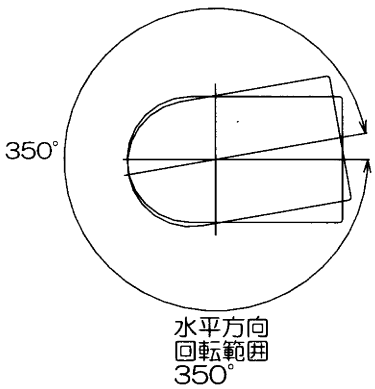


(図2)

ご使用方法

照射方向の調整方法





- 点灯中は灯具が高温となり、火傷の恐れがあります。照射方向の調整は必ず、消灯状態にて行ってください。
- 回転は左図のように行うことができます。ただし、一定以上動かない構造となっておりますので、無理に力を加えないでください。

スイッチ操作

壁スイッチにて「ON-OFF」操作を行います。

お手入れについて　⚠注意　❗必ず電源を切ってください。感電事故の原因となります。

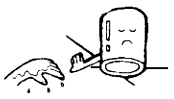
●こまめに清掃を：照明器具やランプが汚れていると、暗くなり、しかも電気代は変わらないので不経済です。
定期的に清掃しましょう。暮れの大掃除の際には照明器具も清掃しましょう。

●ランプ交換について：器具にあったワット数のランプをお求めください。

⚠注意

●ランプの交換やお手入れをするときには、必ずスイッチを切ってから取りかかってください。
★感電事故の原因となります。

●スイッチを切った直後のランプは熱くなっています。**絶対に素手で触らないでください。冷えてから交換するか、またはハンカチやタオル等を使って交換してください。**
★火傷の原因となります。



●濡れた手で触らないでください。
★感電事故の原因となります。

●ランプは乱暴に扱わないでください。
★ランプが割れてけがをする恐れがあります。

●適合ランプ以外のランプは使用しないでください。表紙の「■仕様」欄を確認し、正しいランプをご使用ください。
★不適合なランプを使用すると異常加熱による火災の原因となります。

●**シンナーやベンジンなど揮発性の薬品やクレンザーなどは使用しないでください。**
★器具に傷をつけたり、変色や変質の原因となります。

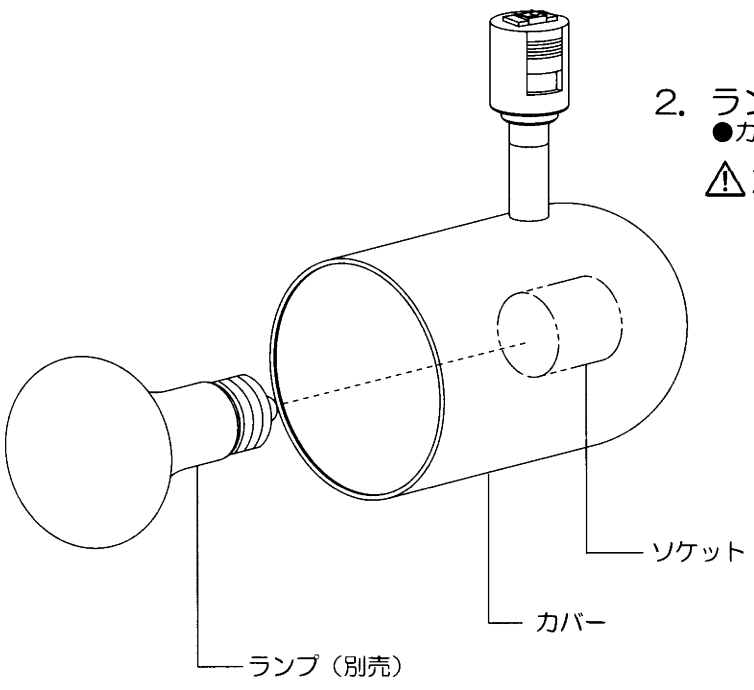
■お手入れのしかた

1．電源を切ります。
2．柔らかい布に中性洗剤を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取ります。
3．汚れを落とした後、洗剤分を拭き取ります。
4．最後に乾いた布で、水分を完全に拭き取ります。

■アフターサービスについて

ご使用中、器具が普段と違った状態となりましたらただちに使用を中止し、器具の品番（器具本体のラベルでご確認ください）、故障の状況、ご使用期間をご確認の上、お買い上げ頂きました販売店、もしくは別紙の山田照明サービス受付窓口にご相談ください。

ランプの交換



1．スイッチを切ります。

⚠注意　●ランプ交換時、濡れた手でさわらないでください。
★感電事故の事故の原因となります。

2．ランプを交換します。
●カバーの中へ手を差し入れてランプを交換します。

⚠注意　●ランプは乱暴に取り扱わないでください。
★ランプ割れなどの事故の原因となります。